



大正製薬 **リポビタン**

# 第46回 全国選抜高校テニス大会

## 【男子】

地区名	順位	都道府県	学校名 (正式名称)	
北海道	1	北海道	北海道科学大学高等学校	2年連続7回目
	2	北海道	札幌光星高等学校	4年連続7回目
	<b>宣誓</b> 3	北海道	北海道北見北斗高等学校	初出場
東北	1	山形県	日本大学山形高等学校	3年連続17回目
	2	宮城県	仙台育英学園高等学校	5年連続9回目
	3	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	16年振り3回目
	4	岩手県	岩手高等学校	4年連続22回目
関東	1	神奈川県	湘南工科大学附属高等学校	9年連続35回目
	2	神奈川県	法政大学第二高等学校	2年連続19回目
	3	埼玉県	浦和麗明高等学校	5年連続5回目
	4	東京都	日本大学第三高等学校	2年連続11回目
	5	栃木県	足利大学附属高等学校	3年連続23回目
	6	埼玉県	浦和学院高等学校	2年振り32回目
	7	千葉県	東京学館浦安高等学校	21年連続23回目
	8	千葉県	東葉高等学校	3年連続3回目
	9	東京都	日本大学鶴ヶ丘高等学校	初出場
北信越	1	福井県	北陸高等学校	8年連続14回目
	2	福井県	敦賀気比高等学校	7年連続20回目
	3	新潟県	東京学館新潟高等学校	10年連続20回目
東海	1	岐阜県	麗澤瑞浪高等学校	6年連続15回目
	2	三重県	三重県立四日市工業高等学校	21年連続43回目
	3	愛知県	名古屋経済大学市邨高等学校	19年連続19回目
	4	愛知県	名古屋高等学校	31年連続36回目
	5	岐阜県	岐阜県立岐阜商業高等学校	2年連続24回目
	6	静岡県	日本大学三島高等学校	3年連続24回目
近畿	1	京都府	東山高等学校	21年連続33回目
	2	兵庫県	相生学院高等学校	15年連続15回目
	3	大阪府	近畿大学附属高等学校	4年連続16回目
	4	京都府	同志社国際高等学校	21年振り5回目
	5	滋賀県	光泉カトリック高等学校	16年連続18回目
	6	大阪府	浪速高等学校	30年振り4回目
	7	兵庫県	神戸野田高等学校	2年振り2回目
中国	1	岡山県	関西高等学校	7年連続41回目
	2	岡山県	岡山理科大学附属高等学校	14年連続33回目
	3	島根県	開星高等学校	3年連続10回目
	4	広島県	精華学園高等学校宮島校	初出場
四国	1	愛媛県	新田高等学校	11年連続27回目
	2	徳島県	徳島県立城南高等学校	3年連続15回目
	3	愛媛県	愛媛県立松山北高等学校	初出場
九州	1	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	18年連続24回目
	2	福岡県	柳川高等学校	15年連続45回目
	3	鹿児島県	鳳凰高等学校	22年連続24回目
	4	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	2年連続16回目
	5	沖縄県	沖縄尚学高等学校	8年連続15回目
	6	福岡県	筑陽学園高等学校	3年振り6回目
	7	長崎県	海星高等学校	2年連続29回目
	8	大分県	大分県立大分鶴崎高等学校	3年連続3回目
	9	鹿児島県	鹿児島実業高等学校	4年振り8回目

## 【選考委員会枠】

### 東京都 日本大学鶴ヶ丘高等学校

文武両道を掲げ、人としての成長を大切に「心」をチームのスローガンとし、仲間を想う心の象徴として「心Tシャツ」を部員全員で着用しチームワークの向上に努めている。また激戦区の中、初の関東選抜に出場。今後の活躍が期待できる楽しみなチームである。さらに部員全員で恵まれた環境への感謝にも努め、テニスボールを大切にできる精神も素晴らしい点を評価しての選考となった。今回が全国選抜高校テニス大会初出場となる。

### 北海道 北海道北見北斗高等学校

テニスの盛んで無いエリアで、地域にテニススクールもなく、市のコートで練習しているという厳しい環境でありながら、力を合わせて活動し、地域のテニス普及活動も行なっている。審判としても道大会に貢献し、テニス部員の7割が国公立大学進学するなど、文武両道を実現している。創立101年の歴史ある学校での伝統行事「強行遠足」に、試合前の為参加できなかったにも関わらず、早朝より応援活動を自主的に行った。五ヶ月間室内でしか練習できない厳しい環境の中、成績を出したことも選出の決め手となった。今回、全国選抜高校テニス大会初出場となる。

補欠校	長野県	松商学園高等学校
補欠校	佐賀県	佐賀県立武雄高等学校

# 団体戦出場校一覧

## 【女子】

地区名	順位	都道府県	学校名	
北海道	1	北海道	札幌光星高等学校	5年連続6回目
	2	北海道	北星学園女子高等学校	3年連続6回目
東北	1	山形県	日本大学山形高等学校	7年振り7回目
	2	秋田県	聖霊女子短期大学附属高等学校	2年連続22回目
	3	青森県	青森県立八戸西高等学校	4年振り5回目
	4	福島県	福島県立いわき湯本高等学校	初出場
関東	1	千葉県	東葉高等学校	3年連続3回目
	2	東京都	東京高等学校	4年振り3回目
	3	神奈川県	法政大学第二高等学校	4年連続5回目
	4	埼玉県	浦和麗明高等学校	6年連続6回目
	5	千葉県	東京学館浦安高等学校	9年連続15回目
	6	東京都	早稲田実業学校高等部	2年連続14回目
	7	神奈川県	白鵬女子高等学校	5年連続10回目
	8	埼玉県	山村学園高等学校	2年振り11回目
北信越	1	長野県	松商学園高等学校	30年連続32回目
	2	福井県	仁愛女子高等学校	44年連続44回目
	3	新潟県	新潟第一高等学校	6年連続12回目
	4	富山県	富山第一高等学校	30年振り2回目
	<b>宣誓</b> 5	石川県	金沢高等学校	2年連続3回目
東海	1	三重県	三重県立四日市商業高等学校	9年連続21回目
	2	愛知県	椛山女子学園高等学校	9年連続30回目
	3	静岡県	浜松市立高等学校	2年連続21回目
	4	静岡県	静岡市立高等学校	5年連続28回目
	5	愛知県	愛知啓成高等学校	11年連続11回目
	6	岐阜県	岐阜県立岐阜商業高等学校	8年連続29回目
近畿	1	兵庫県	相生学院高等学校	12年連続12回目
	2	大阪府	大商学園高等学校	2年振り12回目
	3	大阪府	浪速高等学校	2年連続4回目
	4	京都府	京都外大西高等学校	16年連続16回目
	5	兵庫県	園田学園高等学校	2年連続38回目
	6	京都府	同志社国際高等学校	3年連続5回目
中国	1	岡山県	岡山学芸館高等学校	20年連続23回目
	2	広島県	山陽女子学園高等部	4年連続4回目
	3	山口県	野田学園高等学校	14年連続15回目
	4	山口県	山口県立西京高等学校	3年連続16回目
	5	岡山県	山陽学園高等学校	6年連続38回目
	6	広島県	広陵高等学校	6年振り4回目
	7	島根県	島根県立松江東高等学校	初出場
四国	1	愛媛県	新田高等学校	7年連続7回目
	2	徳島県	徳島県立徳島商業高等学校	3年連続13回目
	3	香川県	香川県立高松北高等学校	13年連続29回目
	4	徳島県	徳島県立城南高等学校	9年振り2回目
九州	1	沖縄県	沖縄尚学高等学校	11年連続13回目
	2	宮崎県	宮崎県立宮崎商業高等学校	6年連続21回目
	3	鹿児島県	鳳凰高等学校	29年連続31回目
	4	福岡県	第一薬科大学付属高等学校	4年連続4回目
	5	佐賀県	佐賀県立佐賀商業高等学校	3年振り3回目
	6	大分県	福德学院高等学校	2年連続12回目

### 島根県 島根県立松江東高等学校

高校生からテニスを始めた選手が多い中、一つでも多く勝つことを目標に練習に励み、創立40年を迎えた記念の年に県で優勝。県大会選抜予選・インターハイ予選を通じて初優勝となった。小学校の児童クラブで、テニス教室を開くなどのテニスの普及活動や地域貢献活動も積極的に取り組んでおり、テニスの聖地「博多の森で戦いたい！」という強い思いも伝わったことが選出の決め手となった。今回が全国選抜高校テニス大会初出場となる。

### 徳島県 徳島県立城南高等学校

選手達でテニスノート「軌跡」の作成に取り組んでいる。選手自身の振り返りや、部員同士のコミュニケーションツールとして活用し、選手間で下級生に向けてのメッセージを繋いでいこうという新しい試みを行い、選手たち発で、部の新しい歴史を作り始めている。キャプテンの熱意も人を魅了するものがあり、結果ではなく、「過程」を大切にできるノートである点、生徒発で行う自立した環境作りを評価し、選考となった。

補欠校	北海道	北海道旭川永嶺高等学校
補欠校	三重県	三重県立四日市南高等学校